

mk-600

取扱説明書 (保証書付)

ご使用上での注意・商品仕様	1
1 各部の名称とはたらき	2
2 通常的使用方法について	2
3 上カバーの開け方・閉め方	3
4 各設定について (リセットボタン・音量調整)	3
5 設定変更の手順	4
ステップ 1. 西暦の設定	5
ステップ 2. 日付 (月・日) の設定	
ステップ 3. 時刻 (時・分) の設定	
ステップ 4. 改行時刻 (段替り) の設定	
ステップ 5. カードフォーマットの設定	
ステップ 6. 表裏判別機能の設定	
ステップ 7. 時間表現 (12・24 時間制) の設定	
ステップ 8. 印字位置微調整 (上下左右) 設定	
ステップ 9. 未設定	
ステップ 10. (サマータイムの設定)	
ステップ 11. 印字表現 (60・100 進方) の設定	
ステップ 12. 締め日の設定	
ステップ 13. パスワードの設定	
ステップ 14. 2 色切り換え時刻の設定	6
ステップ 15. 時報・チャイム吹鳴時刻の設定	7
ステップ 16. 自動欄移動時刻の設定	8
5 リボン交換の方法	10
6 外部時報配線の方法	10
7 壁掛けで使用方法	11
8 ご使用の純正タイムカードについて	11
9 トラブルシューティング	11
10 危険！よくお読み下さい	12

ご使用にあたって

このたびはmita タイムレコーダー mk-600 を

お買い上げいただきまして、誠に有難うございました。

ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

ご使用上での注意

以上のような場所を避けて設置して下さい。

- ・湿気やほこりの多いところ。
- ・直射日光の当たるところ。
- ・振動の激しいところ又は常時振動が発生しているところ。
- ・タイムレコーダーは、室温が -5℃から 40℃の範囲の場所でご使用下さい。
また急激な温度変化を与えることは避けて下さい。
- ・電源は、本体ラベルの記載された電圧、周波数でご使用下さい。
- ・コンセントに電源コードを差して下さい。
変動の大きい電源はご使用にならないで下さい。

▼商品仕様

時計精度	月差±15秒以内(常温)
カレンダー	～2099年 閏年、大小月、曜日は自動判定
印字方式	ドットインパクト方式
タイムカード	ミタタイムカード K-31、K-25、K-20
メモリー保持機能	工場出荷より停電累計時間3年間
プログラム	・印字欄を時刻で自動的に切り換える機能 ・印字色を時刻で赤色もしくは黒色に切り換える機能 ・本体内臓の電子メロディや本体に接続した外部時報装置を設定時刻に鳴らす機能
使用環境	温度：-5～40℃ 湿度20～80% 結露なし
外形寸法	幅200×高さ230×奥行き130mm
質量	2.5kg
消費電力	通常10W～最大30W

1 各部の名称とはたらき

上カバー

設定変更やリボン交換など行う際、このカバーを付属の鍵を使用して開けます。

上カバー開閉鍵部

ここに付属の鍵を差し、上カバーを開けます。

カード挿入口

ここからタイムカードを挿入し、打刻します。

印字欄ボタン

印字する欄をボタンを押して指定します。

液晶表示部

時計の表示および設定変更の際の設定内容を表示します。

アナログ表示部

現在の時刻（アナログ）を表示します。

壁掛け用フック

壁に掛けて使用する際、このフック 2 箇所に引っ掛けて使用します。

内臓スピーカー

本体内臓のメロディー音が、ここから鳴ります。

外部時報・スピーカー接続接点

外付けの時報装置や、本体の内臓メロディーを外部スピーカーに出力する際、このポートに配線接続する。

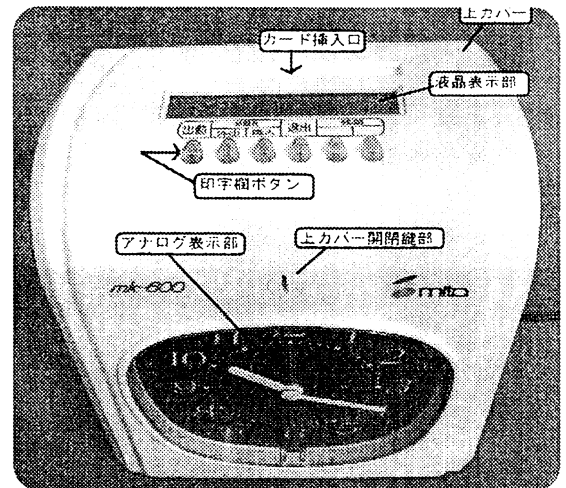


図 1：正面より

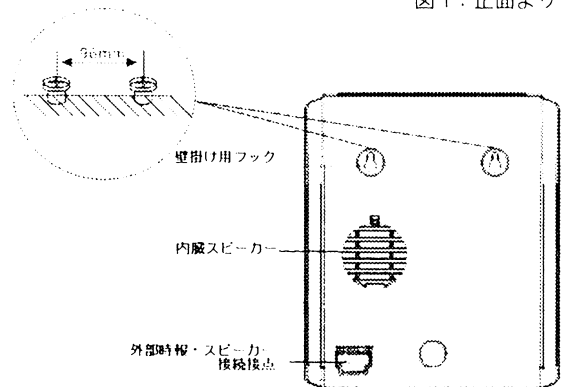


図 2：背面より

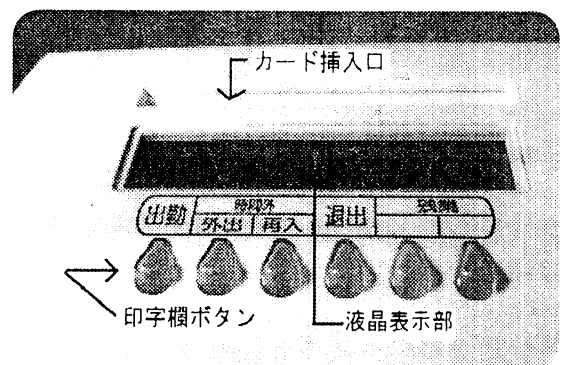


図 3：上から

2 通常の使用方法について

- カード挿入口よりタイムカードを挿入して、現在の時刻をカードに印字します。
- 6 欄印字モデルとなっており、赤く点灯している印字欄へ印字しますので、印字位置をボタン選択し、確認してから打刻して下さい。

3 上カバーの開け方・閉め方

開け方

(P.2 の図 1 参照) 付属の鍵を、上カバー開閉鍵部に差し込み、鍵穴を縦 (ロック状態) から横 (ロック解除状態) に回し、ロック解除をしてカバーを上を持ち上げて外して下さい。

閉め方

外している上カバーを、本体上部にセットします。まずは上カバー (鍵を差したままの状態) の奥にある 2 箇所 の爪部分を、本体爪引っ掛け部に引っ掛け、上カバーを本体にすき間なく被いかぶせる。次に鍵を横 (ロック解除状態) から縦 (ロック状態) に回し、上フタが完全に装着されたのを確認して、鍵を抜いて下さい。



鍵を差し込み右に回す




鍵を差したまま上カバーを持ち上げる
⇒カバーが外れます。

図 4：上カバーの開け方

※閉める際は、逆方向に鍵を回してロックする。

4 各設定について

- 時刻の調整や、設定内容の変更などは、で上カバーを外した状態で行います。(図 4 参照)
- まず設定スイッチ (図 6 参照) を右 (通常モード) から左 (設定モード) へ切り替えます。
- 5 ページから 9 ページの設定変更の手順ステップ 1 ~ 16 を参考に設定内容の変更を行います。
- すべての設定変更の操作が完了しましたら、左 (設定モード) にした設定スイッチを、右 (通常モード) に戻します。
- 外した上カバーを本体にセットし、差したままの鍵を横から縦に戻し (左方向に回す)、鍵を引き抜いて下さい。

リセットボタン

このボタンを押すと、動作をリセットすると共に、本体に設定してあるプログラムすべて初期化されますので、現在時間も含めてすべての再設定入力が必要となりますので、ご注意ください。(図 6 参照)

音量ボリューム

本体内蔵の電子メロディの音量調整ができます。(図 6 参照)

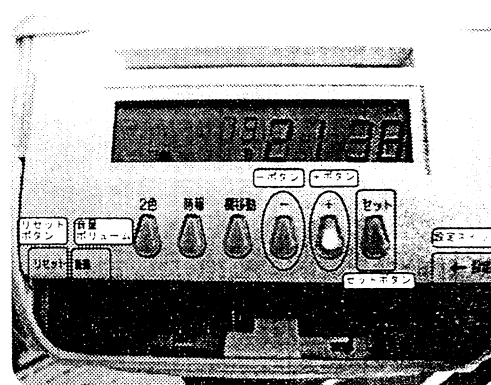


図 5：上カバーを外した状態 (上から)

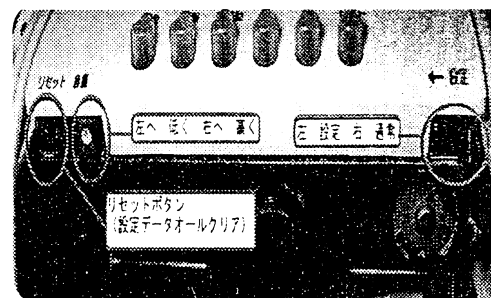
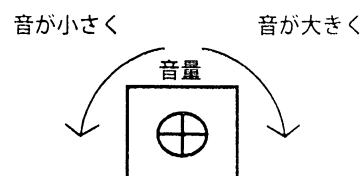


図 6：上カバーを外した状態 (前から)



設定の手順

A カバーを開ける



B 設定スイッチを左へ



C ステップNo.1～No.13
基本設定

D ステップNo.14
2色切り換えの設定

E ステップNo.15
時報チャイムの設定

F ステップNo.16
自動欄移動の設定



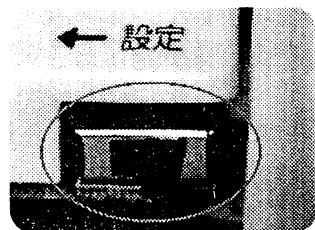
B カバーを開ける
設定スイッチを右へ



A カバーを閉じる

A 上カバーを開けます。(P.3 図4参照)
※設定がすべて完了しましたら、開けた上カバーを閉じます。

B 設定スイッチを右(通常)から左(設定)にスライドさせます。
※設定がすべて完了しましたら、右(通常)に戻します。



～次に図7のような液晶表示となり、ステップNo.01が点滅します。～

- 基本設定の場合 → 操作手順 **C** へ
- 2色切り換え設定の場合 → 操作手順 **D** へ
- 時報チャイム設定の場合 → 操作手順 **E** へ
- 自動欄移動設定の場合 → 操作手順 **F** へ

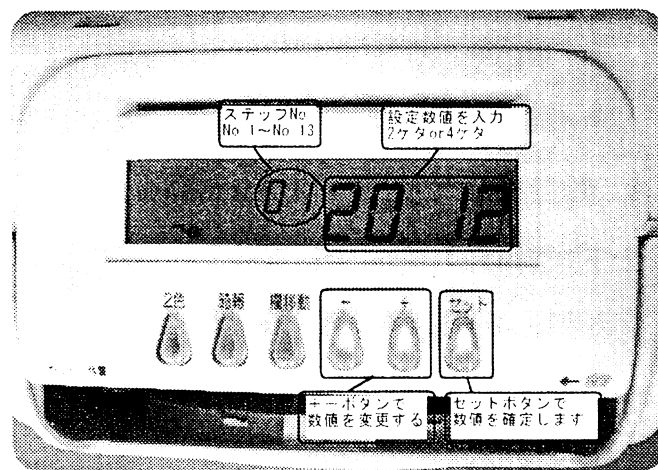


図7：設定画面



C ステップNo.1～No.13の設定……………5ページへ
現在時間や締め日、改行時刻など、基本的な設定を入力します。

D ステップNo.14の設定……………6ページへ
印字する時刻の赤黒色を切り換えする時刻の設定を入力します。

E ステップNo.15の設定……………7ページへ
本体内蔵メロディや配線接続した時報やチャイムの設定を入力します。

F ステップNo.16の設定……………8ページへ
印字する欄を時刻で自動切り換えさせる設定を入力します。

ステップNo.1 ~ 13 の設定

- ①上カバーを開ける。操作手順  参照 (P.4)
- ② 設定スイッチを右 (通常) から左 (設定) にスライドさせます。操作手順  参照 (P.4)
- ③P.4 図7で点滅しているステップNo. を、下のステップNo. 設定一覧表を参考に、どのステップの設定をするか確認し、そのステップNo. へ移動する。
 ーか+のボタンでステップNo. を変更し、セットボタンでその項目へ移動する。
- ④次に設定数値を入力内容・補足説明を参考にセットする。
 ーか+のボタンで設定数値を変更し、セットボタンで設定を確定する。

▼ステップNo. 設定一覧表



No.	設定内容	入力内容・補足説明
01	西暦 (年)	例:2013年 ⇒ 2013
02	月・日	例:10月3日 ⇒ 10 03
03	現在時刻	例:9時6分 ⇒ 09 06 ※時刻修正はここで!!
04	改行時刻 (日替り)	例:深夜3時になると次の日の段に ⇒ 03 00
05	カードフォーマット	通常:00へ (ミタ純正カード使用の場合)
06	表裏判別	表裏間違え判別機能 有効:0 無効:1
07	12h・24h時間表示	印字・液晶表示をどちらの表示にするか 12 or 24
08	印字位置微調整	★左2ケタ:上下方向 00下へ~15上へ
	上下方向・左右方向	★右2ケタ:左右方向 00左へ~30右へ
	印字の大きさ (横)	★2ケタ:00横が狭まる~07横に広がる
09	週カード設定	必ず左2ケタを00に
10	サマータイム	※設定しない場合は左2ケタを00に
11	60進方・100進方	00:60進方 01:100進方A 02:100進方B
12	カード締め日	01日~31日 (K-31カード:31/K-25カード:25/K-20カード:20)
13	パスワード ※設定なしの場合、 下の様な横棒4本 表示となります。 “ _ _ _ _ ”	左2ケタ・右2ケタ計4ケタの設定 ※注意!ここで一度パスワードを入力しますと、次の設定変更の際、ここで入力したパスワードを最初に入力しなければ各設定に入れられない様になります。入力は慎重に!また入力した4ケタの数字を必ずメモしておいて下さい。

※そのステップの設定が完了すると、自動的に次のステップへと移動しますが、もう変更する設定がない場合、設定スイッチを左 (設定) から右 (通常) に戻し、外した上カバーも戻します。

※パスワード設定メモ パスワード (4ケタ) メモしておきましょう。

D ステップ 14 (2色切り換え)の設定

遅刻、早退管理などに便利な印字色を赤・黒2色に時間帯で切り換えする機能

- ① 上カバーを開ける。操作手順  参照 (P.4)
- ② 設定スイッチを右 (通常) から左 (設定) にスライドさせます。操作手順  参照 (P.4)

例 1 ▶ **ステップ1** に毎曜日 9 時 1 分から赤印字に、
ステップ2 に毎曜日 18 時 00 分より黒印字に切り換わる設定

- ③ 2色ボタンを押す (図8参照) 液晶真ん中の上部に小さい 01 ステップNo. が点滅します。
 (【画面1】参照)

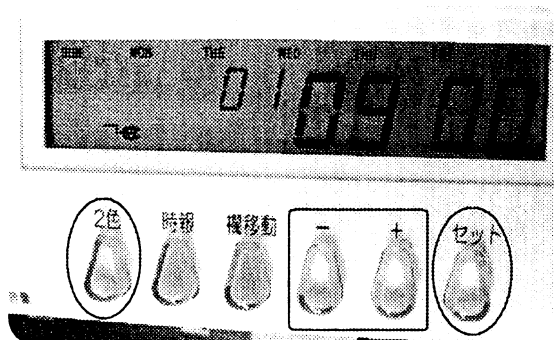
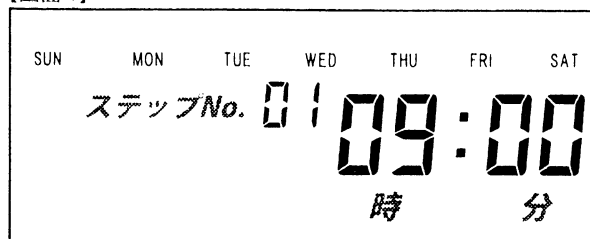


図8：2色設定画面

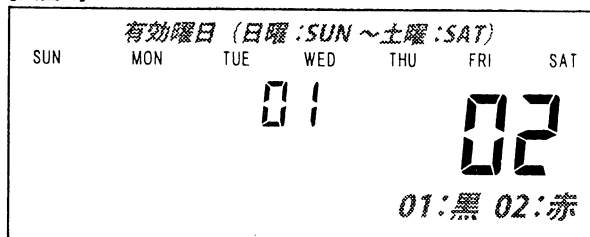
- ④ セットを1回押し、**ステップNo.1** を確定。
- ⑤ 時(hour)を一・+ボタンで **09** にし、セットで確定。
- ⑥ 分 (min)を一・+ボタンで **01** にし、セットで確定。
- ⑦ 次に【画面2】へ。
- ⑧ 右下の2ケタを一・+ボタンで **02** にし、セットで確定。**(01:黒印字 02:赤印字)**

- ⑨ 次に上の日曜日 (SUN) が点滅します。現在設定しているステップ設定を、有効にする曜日を設定します。+と-ボタンで点滅する曜日を移動させます。2色ボタンを押すごとに曜日を有効 (表示)・無効 (表示が消える) を繰り返しますので、SUN (日) から SAT (土) まで、有効にしたい曜日を表示させます。曜日設定が完了しましたら、セットボタンで確定します。

【画面1】



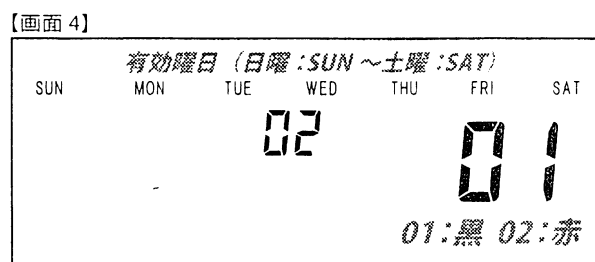
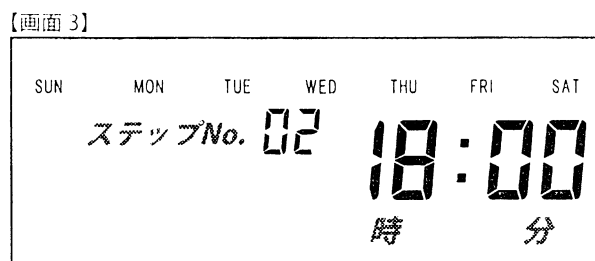
【画面2】



- ⑩ 以上でステップ 1 すべての設定が完了です。1つのステップ設定が完了すると、自動的に次のステップへ移動します。

～ステップNo.2 へ～ P.7 ⑪へ続く・・・。

- ⑪ セットを1回押し、**ステップNo.2** を確定。
(【画面3】参照)
- ⑫ 時 (hour) を-・+ボタンで 18 にし、セットで確定
- ⑬ 分 (min) を-・+ボタンで 00 にし、セットで確定
- ⑭ 次に【画面4】へ
- ⑮ 右下の2ケタを-・+ボタンで01にし、セットで確定 (01:黒印字 02:赤印字)

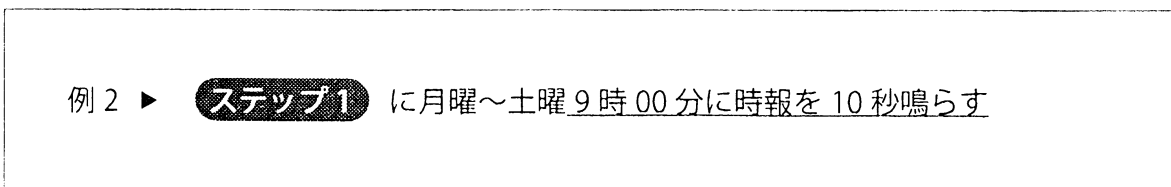


- ⑯ 次に上の日曜日 (SUN) が点滅します。現在設定しているステップ設定を、有効にする曜日を設定します。+と-ボタンで点滅する曜日を移動させます。2色ボタンを押すごとに曜日を有効(表示)・無効(表示が消える)を繰り返しますので、SUN (日)からSAT (土)まで、有効にしたい曜日を表示させます。曜日設定が完了しましたら、セットボタンで確定します。
 - ⑰ 以上でステップ2すべての設定が完了です。1つのステップ設定が完了すると、自動的に次のステップへ移動します。
- ※ 3つ目以降のステップ設定が必要ない場合、手順②の設定スイッチを、左(設定)から右(通常)へ戻し、上カバーも戻します。

ステップ 15 (時報・チャイム吹鳴時刻) の設定

本体内蔵のメロディや、配線接続した外部時報装置を設定した時刻に吹鳴する機能

- ① 上カバーを開ける。操作手順 参照 (P.4)
- ② 設定スイッチを右(通常)から左(設定)にスライドさせます。操作手順 参照 (P.4)



- ③ 時報ボタンを押す (図9参照) 液晶真ん中の上部分に小さい01ステップNo. が点滅します。(【画面5】参照)

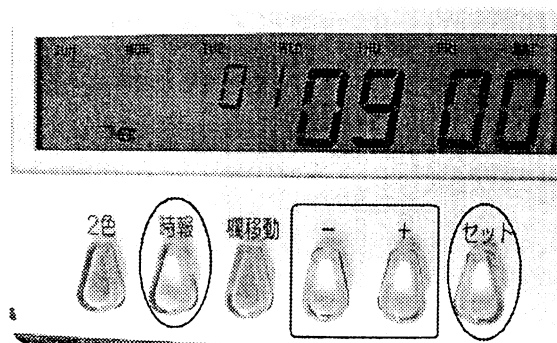


図9: 時報設定画面

④ セットを 1 回押し、ステップNo.1 を確定。次に鳴らす時刻を設定致します。

⑤ 時 (hour) を一・+ボタンで 09 にし、セットで確定。

⑥ 分 (min) を一・+ボタンで 00 にし、セットで確定。

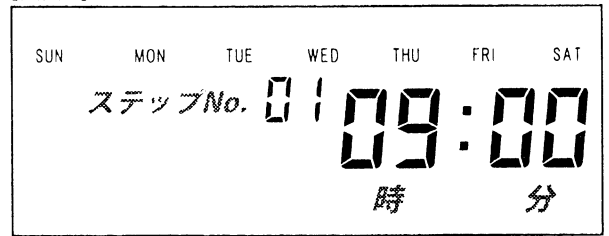
⑦ 次に【画面 6】へ。

⑧ そのステップの時報吹鳴長さ (何秒鳴らすか) を一・+ボタンで 10 秒に設定し、セットで確定。

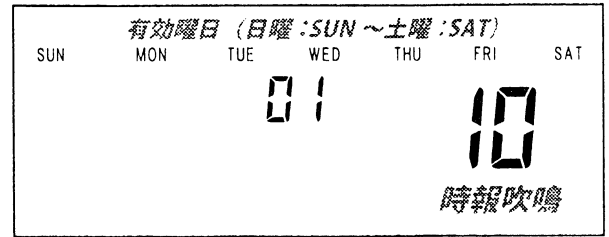
⑨ 次に上の日曜日 (SUN) が点滅します。現在設定しているステップ設定を、有効にする曜日を設定します。+と一ボタンで点滅する曜日を移動させます。時報ボタンを押すごとに曜日を有効 (表示)・無効 (表示が消える) を繰り返しますので、SUN (日) から SAT (土) まで、有効にしたい曜日表示させます。曜日設定が完了しましたら、セットボタンで確定します。

⑩ 以上でステップ 1 すべての設定が完了です。1 つのステップ設定が完了すると、自動的に次のステップへ移動します。

【画面 5】



【画面 6】



ステップ 16 (自動欄移動) の設定

出勤欄や退出欄への印字位置の移動を、時刻で自動で切り換えさせる機能

① 上カバーを開ける。操作手順 参照 (P.4)

② 設定スイッチを右 (通常) から左 (設定) にスライドさせます。操作手順 参照 (P.4)

例 3 ▶ **ステップ 1** に毎曜日 5 時 00 分から出勤 (1 欄目) に、
ステップ 2 に毎曜日 17 時 00 分より退出 (4 欄目) に切り換わる設定

③ 欄移動ボタンを押す (図 10 参照) 液晶真ん中の上部分に小さい 01 ステップNo. が点滅します。(【画面 7】参照)

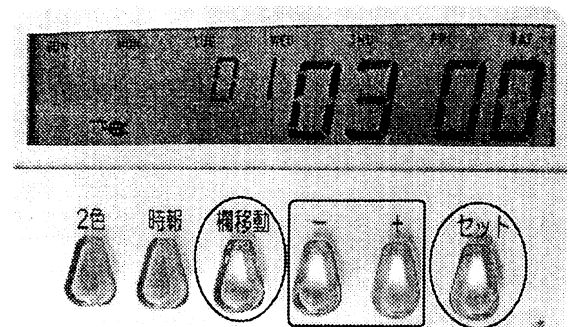


図 10 : 欄移動設定画面

- ④ セットを1回押し、**ステップNo.1**を確認。
（【画面7】参照）

- ⑤ (hour)を一・+ボタンで**05**にし、セットで確定。

- ⑥ 分 (min)を一・+ボタンで**00**にし、セットで確定。

- ⑦ 次に【画面8】へ。

- ⑧ 右下の2ケタを一・+ボタンで**01**にし、セットで確定。**(01:1欄目～06:6欄目)**

- ⑨ 次に上の日曜日 (SUN)が点滅します。現在設定しているステップ設定を、有効にする曜日を設定します。+と-ボタンで点滅する曜日を移動させます。欄移動ボタンを押すごとに曜日を有効 (表示)・無効 (表示が消える)を繰り返しますので、SUN (日)からSAT (土)まで、有効にしたい曜日表示させます。曜日設定が完了しましたら、セットボタンで確定します。

- ⑩ 以上でステップ1すべての設定が完了です。1つのステップ設定が完了すると、自動的に次のステップへ移動します。～ステップ2へ～

- ⑪ セットを1回押し、**ステップNo.2**を確認。
（【画面9】参照）

- ⑫ 時 (hour)を一・+ボタンで**17**にし、セットで確定

- ⑬ 分 (min)を一・+ボタンで**00**にし、セットで確定

- ⑭ 次に【画面10】へ

- ⑮ 右下の2ケタを一・+ボタンで**04**にし、セットで確定。**(01:1欄目～06:6欄目)**

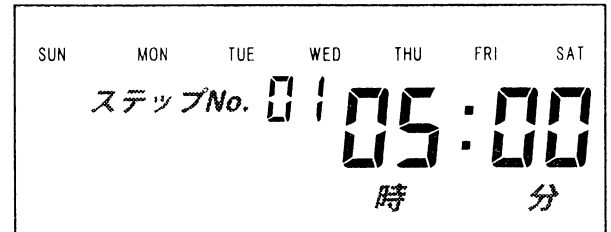
- ⑯ 次に上の日曜日 (SUN)が点滅します。現在設定しているステップ設定を、有効にする曜日を設定します。+と-ボタンで点滅する曜日を移動させます。欄移動ボタンを押すごとに曜日を有効 (表示)・無効 (表示が消える)を繰り返しますので、SUN (日)からSAT (土)まで、有効にしたい曜日表示させます。曜日設定が完了しましたら、セットボタンで確定します。

- ⑰ 以上でステップ2すべての設定が完了です。

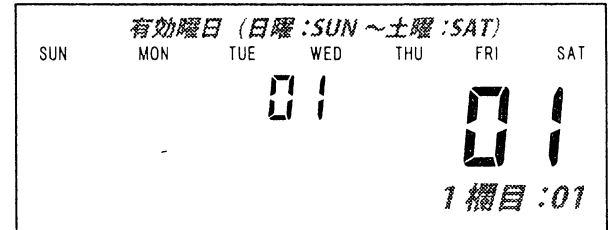
※続けて次のステップ以降も設定を行う場合は、手順⑩～⑯を繰り返して設定を行って下さい。

※以降の設定が必要な場合、手順②の設定スイッチを、左 (設定)から右 (通常)へ戻し、上カバーも戻します。

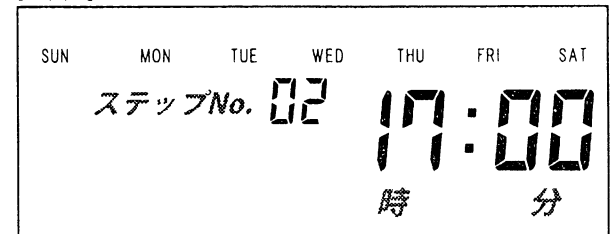
【画面7】



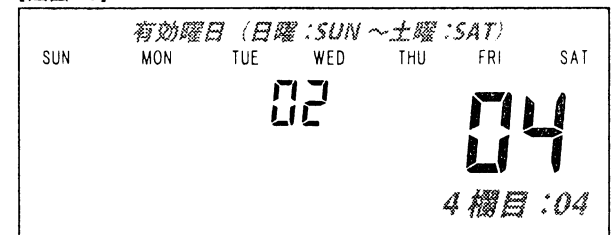
【画面8】



【画面9】





【画面10】



5 リボン交換の方法

印字が薄くなってきましたら、本体内部にセットされていますリボンカセットを交換して下さい。

【リボンカセット交換手順】

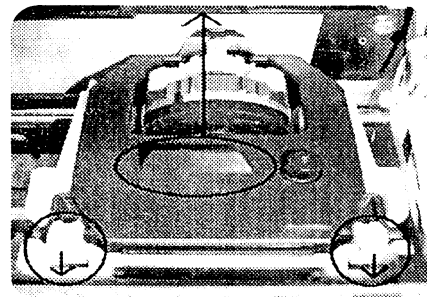
A 本体上カバーを開け、設定スイッチを右（通常）から、左（設定）へ
（P.4 設定手順   参照）



B コンセントを抜く



C 右図、下の 2ヶ所の白いリボン押さえを、矢印方向（手前側）～ 指で引っ張ると、リボンカセットが上に跳ね上がりますので、そのままカセット中央上部の取っ手を摘んで、上方向に持ち上げて外して下さい。



本体リボンカセット装着部



D 次に新しいリボンカセットを、外した場所に装着します。（カセットのつまみを矢印方向に回し、リボンのたるみをなくした状態で奥までしっかりセットして下さい。



E コンセントを差して、設定スイッチを左（設定）から右（通常）に戻した後、最後に上カバーを装着して下さい。

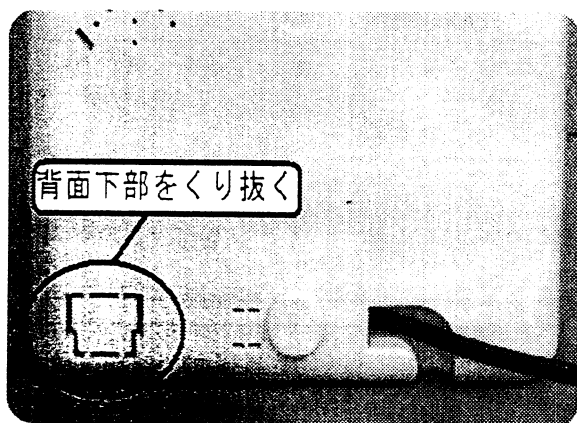
6 時報配線の接続方法

タイムレコーダーに、時報装置を配線接続して、外部で鳴らす場合、その配線方法をご説明致します。

注意！

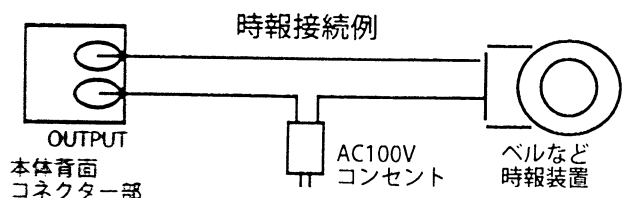
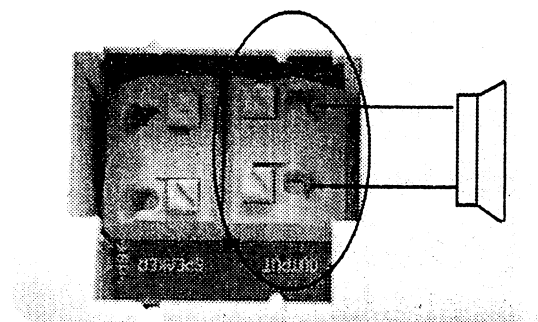
- ★ 配線接続を行う際は、必ずタイムレコーダーのコンセントを抜いた状態で行って下さい。
- ★ 接続した配線は、抜けない様にしっかり固定して下さい。
（配線が外れた場合、感電や火災の危険があります。）
- ★ ACを使用した外部時報装置を接続する場合は、電気工事の有資格者以外は絶対に行わないで下さい。

手順1 コネクターカバーをくり抜く



手順2 時報配線をつなげる

- 時報配線は右側“OUTPUT”へつなぐ
- 左側の“SPEAKER”は本体和音(イ)を外部スピーカーへ出力する際につなぎます



接点出力：無電圧接点出力 1回路
接点容量：AC負荷 100V 1.2A以下

7 壁掛けで使用する方方法

台の上に置いてご使用になれない環境の場合、壁に掛けて使用する事もできます。

【壁掛け手順】

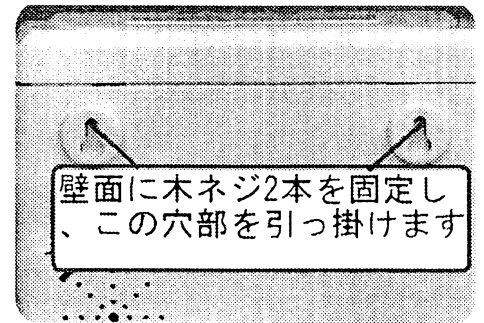
A 壁面に木ネジを2本取り付けます。

※取り付けるネジの高さや取り付け幅に注意して下さい



B 取り付けた木ネジに本体を引っ掛けて設置します。

※しっかり固定されてないと、落下する危険性があります。



本体背面壁掛け穴部

8 ご使用の純正タイムカードについて


カードの種類	対応締め日
ミタ タイムカード K-31カード	15日・31日
ミタ タイムカード K-20カード	20日
ミタ タイムカード K-25カード	25日

9 トラブルシューティング…故障かな?と思ったら

現象	確認事項
全く作動しない カードを引き込まない	コンセントが抜けてないか? またブレーカーが落ちてないか? クリップやメモ紙など、カード入口付近に挟まってないか? カードの表裏は間違っていないですか?
印字しない 印字が混色する	リボンカセットは正しくセットされていますか?
印字位置が合わない	年月日・締め日・改行時刻の設定などをご確認して下さい。 カードが折れたり曲がったりしていませんか?
タイムカードが中に 入って出てこない	上カバーを開け、中に何か挟まってないか確認して下さい。









10 危険 ⚠️ よくお読み下さい

⚠️ 危険
















AC出力のある機器で外部の機器の電源を入り切りする場合、接続工事は有資格者以外は行わないでください。また、工事の際は本機および接続する機器の電源プラグは必ずコンセントから抜いてから行ってください。通電時にはドライバなどの金属物で接続端子に触れないでください。誤って端子に触れた場合、感電、火災の危険があります。

⚠️ 危険

-  この機器のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
-  この機器を改造しないでください。火災や感電のおそれがあります。
-  万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。
-  表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
-  電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
-  万一、異物(金属片、水、液体など)が機器の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
-  アース接続してください。アース接続できない場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。
-  濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

⚠️ 危険

-  ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
-  この機器の上に水などの入った容器または、金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。
-  湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
-  調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
-  プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。(必ずプラグを持って抜いてください) コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
-  本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
-  フリンターのヘッドの部分には、触れないよう、ご注意ください。けが、火災、感電の原因となることがあります。
-  電源プラグは奥まで確実に挿入してください。火災、感電の原因となることがあります。
-  タイムカードの挿入口には指定のタイムカード以外は差し込んだり、落としたりしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
-  機器で指定されていない電池は使用しないでください。電池の発熱、破裂などにより、火災、けがの原因となることがあります。
-  万一、この機器を落としたり、ケースを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
-  扉が開いているときに、扉に寄りかからないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
-  乾電池を機器に挿入する際は、電池の極性(プラスとマイナスの向き)に注意して間違えないように挿入してください。間違えると、電池の発熱、破裂などにより、火災、けがの原因となることがあります。

日頃のお手入れについて
半年に一度は電源プラグをコンセントから抜き、ほこりや汚れを乾いた布などで掃除してください。

-MEMO-